

事業名 **体育施設開放事業 (学校プール開放)**

[0499]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	市民スポーツ活動の充実	基本事業	スポーツ・レクリエーション施設の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分 1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分 2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者
手段	学校プールを夏季休業期間中、業者委託により開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。
意図	学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。また、水泳を通して子供と保護者のふれあいも深めるねらいがある。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	開放校区の児童・生徒(中学生)数	人	10,552	10,194	9,883	9,685	
対象指標2							
活動指標1	開放校数	校	17	17	17	17	
活動指標2	開放日数	日	17	14	14	14	
成果指標1	利用者数	人	11,752	9,033	10,000	10,000	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	3,942	4,153	4,166	3,807	0
正職員人件費(B)		千円	1,660	1,612	1,629	1,214	0
<b>総事業費(A)+(B)</b>		千円	5,602	5,765	5,795	5,021	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 プールの水質管理に係る薬品について、学校授業用と一体的に管理することとした。(予算上も学校授業用に移した。)

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつた24年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 22年度もしくは23年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			